

大本大阪本苑だより

発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎ (06) 6651-5670
Fax (06) 6651-6611

大阪本苑3月月次祭執行

春は、そこまで

東日本大震災10年を迎えた弥生3月の月次祭は、3月4日午前10時、齋主足立正文宣教担当参事のもと、厳粛に執行された。新型コロナウイルスの感染拡大防止策のため、今月も規模を縮小しての執行となった。祭典は、祓式行事、齋主「月次祭祝詞」誕生祭祝詞「新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」を奏上。玉串捧奠は、齋主、宣伝使代表、本苑長、各代表、参拝者代表、3月誕生者代表が敬虔に捧げた。齋主先達、神言奏上、讚美歌斉唱。続いて、乙姫様月次祭を執行。伊藤香次長による「いづのめしんゆ」拜読で祭典は終了した。本苑長挨拶では、「1月13日に発令されました緊急事態宣言は、2月末に首都圏を除き解除されましたが、大阪では連日100名前後の感染者が確認されており予断を許さない状況が続いておりますので、本日も先月同様に規模

を縮小し「密閉・密集・密接」の「三密」状態を回避するため、分所・支部長並びに役員のみで参拝とさせていただきます。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、祭典参拝、研修会開催等の自粛体制を緩めていくことができればと思います。しかし、当面は、変異株の感染拡大も懸念されるような状況が続くことが予想されますので、昨年のみならず大祭での教主さまのお言葉のとおり衛生面、生活面で感染しないように細心の注意を払って行動するとともに、今までの以上に祈りたまを敬い、正しき浄き信仰をさらに深めて心身の健全をはかり、天津祝詞、神言を日々奏上して霊界を浄めるご用にお仕えし、世の中のおよい鏡となるよう努めさせていただきます。多くの箱舟を造り、霊界物語第5巻 第22章 神示の箱舟で、神様の命により、



大洪水から助かったというくだりがありますが。その一説にすべて神のなす業は人間の窺知し得るべきところにあらず。『神は今の今までは何事も申さぬぞよ。人民はただ神の申すようにいたせよ、ちっとも落度は無いぞよ』と神諭に示されたるがごとく、ただ吾々が下らぬ屁理屈をやめて、ただただ神命のままに活動すべきである。と書かれています。大本のご神業は教主さまが中心です。「中心・基本・初心」を忘れることなく、「お土の心」にならせていただき、天地の恩に報いる生活を実践させていただき、皆様と信仰の喜びを共有しながら教主さまのみに沿った活動を本苑として取り組んでいき、大阪から良い型を出ていきたく思いますので皆様よろしくお願いいたします。」と述べた。高瀬健二総務担当参事によるお知らせで無事終了となった。桜も漸くほころび初め穏やかな一日となった。

(参拝者64人)

三三講話

高槻分所 西 ヒロ子

「たぐさんの縁に導かれた信仰」

私は山口県阿川という半農半漁の山陰の小さな町に生まれました。父は大漁の船を賑々しく飾る大漁旗の凶案を起こし染めるという仕事をしていました。が、私が6歳の時4歳で亡くなりました。7人の子供を抱えた母の心痛は如何がばかりであったでしょう。そんな折、父の実家に大本本部の松永梅雄先生の父上が宣教に来られ、霊が見えるなど魅力ある講話に信者が一気に増え、母もこれこそ求めていたものと、すぐに入信を決心したと聞いています。山口県の信者さんとはうなぎ登り、団体列車を仕立てての本部参拝でした。当時の本苑長は三代様のお歌にも詠まれています。我が家の兄が国鉄に勤務して大な資金援助をされた歯科医の植田瑞穂さんでした。我家は兄が国鉄に勤務して来たので、旅費も軽くすみ母は連れてくることが出来たので、父方の叔母が二代様のご用をたまり「あんさん苦労しなあは

るなあ、でも後々よくなるでえ」とお言葉たまりました。ところが9歳で亡くなった母の大きな力となり何度も繰り返した大切な語り草でした。私自身は高校卒業後一時郵便局に勤めていたのですが、東京本苑(当時)にご奉仕のお誘いを受け、生まれて初めて上京しました。やっと駅に降り立ったものの一人で信号を渡れず、幾人が渡るまで待っていました。東京でのご用は綾部要荘におられた金井イサ子さんと出向の梅田先生を初め岡崎先生、中倉先生など常時7〜8人の食事等のお世話をしましたが、お買物のササミを頼まれてもハテ何屋に売っているのだったか?と思う私でした。当時月に幾度か三代様は四代様とご一緒に上京され、歯科医の大塚先生にかよわれましたが、イサ子さんのお料理をここの他お喜びで「おいしいなあ」とのお言葉を聞くのが本当に嬉しかったのを覚えています。私が漬物や保存食を作ったり、毎年大阪本苑で直会用にタフアンを100本漬けてさせて頂いているのも、料理のよさごびを教わったのかも知れません。又、出口伊佐男先生も偶に来苑され「お水を一杯下さい」がご所望の合図のお酒をコップになみなみとつぎ、お持ちすると大層喜ばれたものも懐かしい思い出です。その後大本会館が立ち上がり電話の構内交換手の免許を持つ私に声がかかり、亀岡本部に移動しました。しかし都会の信号も一人で渡れなかった私ですが、本部にも慣れてくると、世間に出てみたくなりました。電々公社に勤務の大阪の信者さんの紹介でダイハツ販売本社に入社、住まいもお世話を頂きました。そして「遅咲きの花もあるよ」という母の言葉通り大阪本苑で主人とめぐり会いました。二代様の言葉通り、母の6人の子供たちには、姉が天国の城分所の飯田家の方に嫁ぐなどそれぞれ所帯を持ち、孫は16人、皆信仰の喜びに生きています。結婚の遅かった息子にも良いご縁をいただき、すでに孫は3人。家族で信仰を継いでくることが出来ています。神様から沢山の縁を頂き、そのご恩はかり知れず、感謝の日々を送っています。

誠心会松山だより

大阪本苑にとりましては、とても大切な松山でございます。この松山を永年に渡り管理整備されてきたのが松本相談役でございます。毎週1度は現地向向かれ、近隣住民の方々と協調し和合を重じられ、伐採された枯木枯草の焼却清掃をされ、また追加の苗木を植えてこられました。相談役のご尽力に感謝申し上げます。段々畑に連なる松林は、実に見事な景色です。隣接地にはみかん畑と梅林で、環境も良く緑豊かな風景です。季節の良い時期にはレクリエーションの場として適していると思われます。(現地まで車で1時間半です)松山の手入れと整備を近隣の住民の方々と協調し、持続可能にする事が、今後の誠心会の課題と考えています。平成28年信徒の皆様のお志により約七百坪の広大な畑を開墾し、平成29年4月より松苗が三百本植樹されました。その後、苗はすくすくと伸び幹も相当太くなり、枝ぶりも立派に成長しています。大阪本苑の役職の皆様は松山のご奉仕にご参加して頂きたいと思っております。(大阪本苑誠心会)

第3回生きがい公開講座を1年ぶりに梅田会場で開催

一般の方が気軽に参加できるように、梅田の「総合学習センター」で開催し始めましたが、昨年3月より新型コロナウイルスのため、事前収録してユーチューブ配信してまいりました。今年も会場の使用が難しくやむなく人類愛善会大阪協議会(大阪本苑)よりライブ配信してまいりました。3月になりようやく2回目の緊急事態宣言が解除され、17日(水)1年ぶりに梅田の会場で開催できライブ配信も実施しました。講



講話する浅田秋彦講師



3月26日和歌山「松山」の整備に行きました。

題は、浅田秋彦(人類愛善会インターナショナル大阪協議会名誉顧問)講師による「明るく素直に前向きに」人生の本分を尽くす生活の原理」でした。残念ながら一般の参加者はありませんでしたが、久しぶりの公開講座で、講師・スタッフともに意気揚々でした。

生きがい公開講座予告

第4回はライブ配信のみになりました。
【配信時間】4月21日(水)午後7時~8時30分
予て「人類愛善会大阪」チャンネルで配信
神と人との関係

人は神なしに生きていいのか
講師・末延隆利(大本大阪本苑特任宣伝使)
宇宙万物は関連し統一されている。統一意志の所有者を「神」という。人は「神の子神の宮」と言われ、神によって生かされている。人は、この世を治める使命を持っている。神とは何か、人とは何かを理解し、真の生き方を考えます。

生きがい公開講座 特別編

みろくの世の経済

【日時】5月30日(日)14時~16時(13時開場)
【会場】大阪市立住まい情報センター3Fホール
【講師】藤原直哉(経済アナリスト・株式投資家・代表取締役)
未信徒の方ももちろん、家庭内未信者、未自覚信徒を誘って後継者育成に活用しましょう。
宣教部

【日時】5月30日(日)14時~16時(13時開場)
【会場】大阪市立住まい情報センター3Fホール
【講師】藤原直哉(経済アナリスト・株式投資家・代表取締役)
未信徒の方ももちろん、家庭内未信者、未自覚信徒を誘って後継者育成に活用しましょう。
宣教部

誄詞研修会のお知らせ

葬儀の「誄詞」はとても重要な祝詞の一つでもあります。まを善言美詞でよい霊界に昇つて頂の研修会では支那希望される多くのしております。
【日時】令和3年4月14日(土) 午前10時~12時
【場所】大阪本苑
【講師】出口 飛鳥先生
【費用】昼食費500円(実費)

4月14日中止になりました

第48回中の島まつりについて

5月3日(月)~5日(水)に予定しておりました第48回中の島まつりは、今回「不参加」とすることになりました。

信徒研修会のお知らせ

4月25日(日)大阪本苑で「信徒研修会」を行います。今「コロナ禍で不要の外出を控える中、教回方針・人類愛善会活動方針」のつくり「今、何をすべきか?何が出来るのか?」具体策を見いだせる実践的な研修会を行いたいと思います。事前に、各方針を熟読して「A-Z-E-N 100採点表」で自己評価してご参加ください。なお、参加者は、「令和3年度教回方針・人類愛善会活動方針」の冊子と採点表をお持ちください。
【日時】令和3年4月25日(日) 午前10時~午後4時30分
【場所】大阪本苑
【費用】昼食費500円(事前申し込みが必要で「持ち物」)
「令和3年度教回方針・人類愛善会活動方針」・「A-Z-E-N 100採点表」筆記具
マイ箸、マイボトル、マイ祝詞

全国愛善歌大会奉納形態変更のお知らせ

教主ご就任20周年慶祝「全国愛善歌奉納大会」を、今年はオンラインで開催いたします。信徒のみならずから映像を募集いたします!愛善歌「基本宣伝歌」を収録した映像をお送りいただき、1つの動画にまとめさせていただきます。
【開催日】令和3年5月4日(火・祝)
【合唱曲】「基本宣伝歌」
【奉納形態】撮影した動画を投稿してください
※ご投稿いただいた動画を本部でひとつにまとめます
【締切日】令和3年4月12日(月) 必着
サンプル動画・楽譜・動画撮影方法・動画送信方法は「大本公式ホームページ」
【信徒専用】にございます
みなさまのご参加を心より、お待ちしております

四代教主毎年祭選拝祭ご案内

4月29日(木・祝)10時より、四代様を偲び、20年目の毎年祭選拝祭を執行致します。多数ご参拝下さい。

教主生誕祭選拝祭ご案内

5月4日(火・祝)午前10時より、教主生誕祭と三代様・尊師様生誕祭の選拝祭を執行致します。多数のご参拝をお待ちしております。

みろく大祭選拝祭ご案内

5月5日(水・祝)午前10時より、みろく大祭選拝祭を執行致します。多数のご参拝をお待ちしております。

本苑祭式講習会・葬祭研修会お知らせ

祭式講習会・葬祭研修会を次の通り開催致します。祭式の大切さを皆様と共に学びたいと思っております。
○祭式講習会
【日時】5月22日(土)午前9時~17時
5月23日(日) 17時
【参加費】無料(但し昼食各自負担)
【持物】動き易い服装、テキスト「大本祭式」教本(500円にて配布)

葬祭研修会

【日時】5月23日(日)午前9時~16時
葬祭式次第(司会用)をもとに
招魂式・葬祭式を研修致します。
※各分所支部から必ず1人以上の参加をお願いします。

大本生きがい常設講座ご案内

大阪本苑では、毎月2~3回土曜日に「大本常設講座」を開催しています。未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しくお願致します。
【開催予定日】
4月17日・4月24日
5月1日・5月15日・5月22日

本苑所蔵 お作品紹介

【作】 三代教主様
【作品名】 我が家の教
わか家のをしへにいらていくたりの
ひとか幸福になりつるならむ
【サイズ】 H710×W310



茶杓「なにはづ」
五代教主様



「葉皿」
五代教主様



「新型コロナウイルス感染症防止のため、本苑の「祝詞と讃美歌」の使用をしばらく中止します。つきましては「マイ祝詞・マイ讃美歌」をご持参ください。」

小藪資史 特派在阪日程
5月8日(土)～9日(日)

特派のお取次ご相談は、事前に本苑事務所までご連絡ください。

マイ箸
マイボトル
マイバック
マイ祝詞・讃美歌

SDGs

貧困に終止符を打ち、地球を守り、環境を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受することができるよう「誰一人取り残さない」SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Table with 2 columns: Date and Event Name/Time. Includes events like '本苑春季大祭・乙姫様月次祭' and 'ライブ配信(春のレクリエーション)'.

Table with 2 columns: Date and Event Name/Time. Includes events like '常設講座「神と人との関係？」' and '本苑月次祭'.

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更になる可能性があります。

Table with 2 columns: Date and Event Name/Time. Includes events like '常設講座(1人)' and '本苑春季慰霊大祭(13人)'.

YouTube section with QR codes for '大本大阪本苑' and '人類愛善会大阪'.

大阪本苑 ホームページ section with QR code and text about mobile access.

神饌物献納御礼 section with text about donations and names like 岡尾 由貴様.

み手代お取次 section with a list of names and dates for the next month.

本苑日誌(3月)